

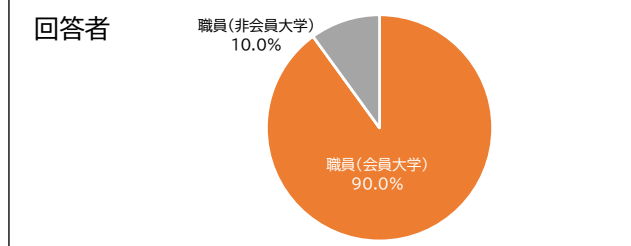
2025(令和7)年度 大阪府内地域連携プラットフォーム
第1回「大阪∞GAKU」(大学教職員研修) 受講者アンケート

回答者 10名 / 受講者 21名 回答率 47.6%

1. 回答者について

教員(会員大学)	0
職員(会員大学)	9
教員(非会員大学)	0
職員(非会員大学)	1
その他	0

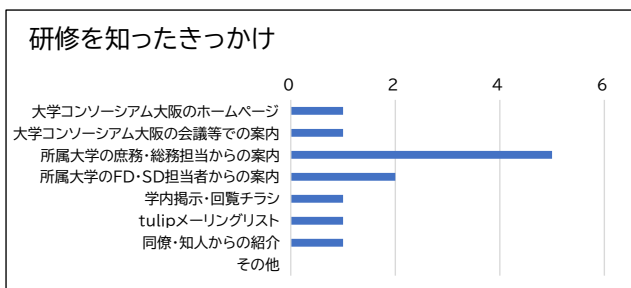
10



2. 研修を知ったきっかけ(複数回答可)

大学コンソーシアム大阪のホームページ	1
大学コンソーシアム大阪の会議等での案内	1
所属大学の庶務・総務担当からの案内	5
所属大学のFD・SD担当者からの案内	2
学内掲示・回覧チラシ	1
tulipメーリングリスト	1
同僚・知人からの紹介	1
その他	0

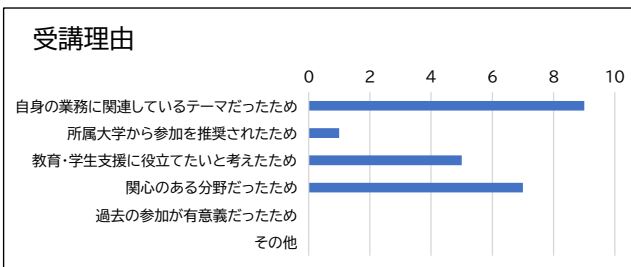
12



3. 受講理由(複数回答可)

自身の業務に関連しているテーマだったため	9
所属大学から参加を推奨されたため	1
教育・学生支援に役立てたいと考えたため	5
関心のある分野だったため	7
過去の参加が有意義だったため	0
その他	0

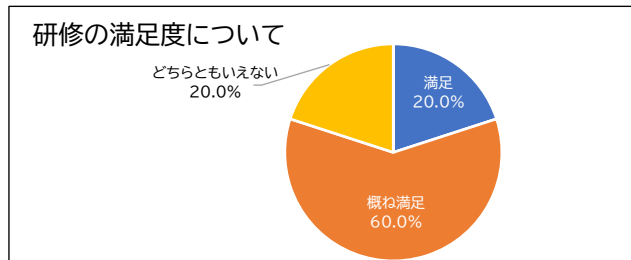
22



4. 研修の満足度について

満足	2
概ね満足	6
どちらともいえない	2
満足できない点があった	0
不満	0

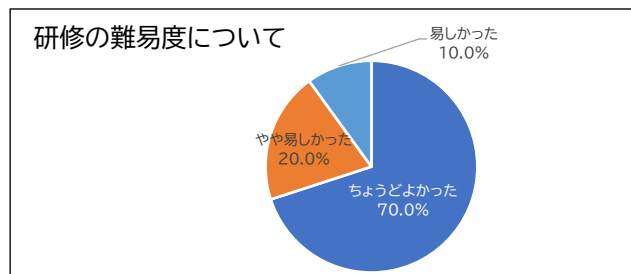
10



5. 研修の難易度について

難しかった	0
やや難しかった	0
ちょうどよかった	7
やや易しかった	2
易しかった	1

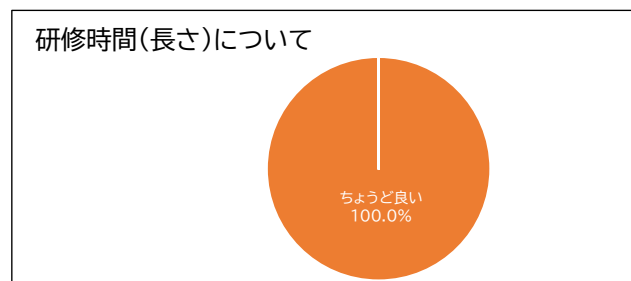
10



6. 研修の時間(長さ)について

長い	0
やや長い	0
ちょうど良い	10
やや短い	0
短い	0

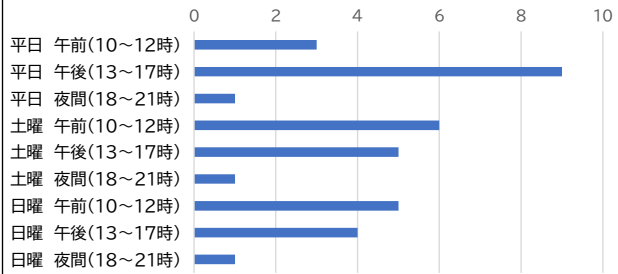
10



7. 講座の受講にあたり都合の良い時間帯について

平日 午前(10～12時)	3
平日 午後(13～17時)	9
平日 夜間(18～21時)	1
土曜 午前(10～12時)	6
土曜 午後(13～17時)	5
土曜 夜間(18～21時)	1
日曜 午前(10～12時)	5
日曜 午後(13～17時)	4
日曜 夜間(18～21時)	1

都合の良い時間帯について



8. 本日の研修テーマに関連して日頃感じている課題や貴学での対応状況について

・留学生の日本語でのコミュニケーションが難しい場合があり、学内で母国語でコミュニケーションがとれるスタッフがいらっしゃれば対応をお願いすることがあります。
・留学生が日本での就職について楽観的に捉えている点や、留学生の働きたい業界(や職種)と実際に企業が求めていることにギャップがあり、企業とのマッチングがうまくいかないこと。
・留学生が日本での生活も含めて、満足度の高い教育環境を整えることが難しい。
・本日は貴重なお話をありがとうございました。本学では、留学生が急増しており、先生のお話にもありましたように人数稼ぎではないかという点も少なからず感じており、しかし受け入れたからには、しっかりと教育をし、サポートを行い、留学生が満足する進路へと導いていきたいと考えてはいますが、中々十分な対応ができておりません。早急に、大学全体で取り組み、改革すべき課題であります。問題意識の共有ができておらず、一部の部署や人に負担が偏っている状況です。
・本学においては十分にできていないのですが、留学生への直接の支援だけではなく、周りの学生に対する多様性理解の取り組みがセットであると考えています。先日、一部、素行の悪い留学生がいたことから派生し、特定の国の留学生に向けてヘイトスピーチのような発言をする学生がいました。素行が悪い日本人学生もいるのですが。
・まれに、連絡が取れずそのまま除籍になる留学生がおり、そういった場合の対応に苦慮しております。
・留学生の語学の壁は、いつも課題になっていると思います。直接気持ちのこもった指導ができないのがいつももどかしいです。
・留学生の受け入れ及び様々な支援は、今後も大きな課題の一つだと思います。
・留学生の進路サポートについて

9. 特に印象に残った点や参考になったこと

・留学生専門の科目を開講して留学生がキャンパスライフを送りやすいように対応していることがよくわかりました。本学も今後国際化に力を入れる予定なので参考にさせていただきたいです。
・お話にありましたが、歴史認識や国際情勢に配慮した表現や対応は難しいと感じます。宗教や信仰への対応について大変参考になりました。
・「日本出身学生」といった、日本に住む外国ルーツの学生にも配慮した点
・留学生サポートについては、教員と職員との密な連携や情報共有が大切であるという点が印象に残りました。具体的に教員と職員との取り組みや連携についてもぜひ伺いたかったです。
・留学生の成績や出席状況の在籍管理は非常に重要なタスクですが、アドバイザーの先生がそれを担当されているという点が素晴らしいと感じました。実際に授業で顔を合わせる先生方がそこを担われていると、変化や困りごと、直面している悩みに気づきやすいという点もあるかと思えます。先生方がいかにそのタスクを受け入れて業務の一環として担っていただけたようになったのかなどの背景もお聞きしたいと感じました。
・カタカナ語が苦手な留学生が多いこと、テストの不正行為が故意によるものでなく、感覚の違いであったこと。
・非常に丁寧な対応をされている、という印象を持ちました。本学においても教員個々には対応していただいているところではありますが、組織的体系的な対応に至っていない、というのが現状です。大学としてダイバーシティの方針も定まっています。
・文系の場合、歴史的背景も配慮するというのが、理工系とは問題意識が違うなと思いました。
・とても分かりやすい内容で、留学生の支援についてよく理解できました。ありがとうございました。
・本学は留学生の受け入れはないため、今後の参考にさせていただきたいと思います。

10. その他、研修に関する意見、感想等

・失敗例も含めて、具体的な取り組みをご紹介いただき、ありがとうございます。
・「お祈り」の件につきまして、本当に丁寧に教えていただき、ありがとうございました。たいへん参考になりました。
・相愛大学さんの取り組みを詳しくお聞かせいただきありがとうございました。他大学の留学生キャリア教育・キャリア支援についての取り組みについても共有いただく機会を希望します。

11. 今後、大阪∞GAKU (大阪府内地域連携プラットフォーム 大学教職員研修)に期待すること、希望する研修テーマ等

・留学生のサポートを担当する他大学の職員の方々との対面での交流、意見交換会を実施していただければ非常にありがたいと感じます。お恥ずかしい話ですが本学の留学生サポートはまだまだ手探りな面が多く、悩みが多いため、他大学様のご経験やノウハウを情報交換できる機会があれば非常に参考になると感じました。
・今回は「多様な学生に向き合う教育」への取り組みの中でも外国人留学生の受け入れの現状と課題を中心にお話いただきましたが、多様な学生という事をテーマに発達障害や、発達障害かもしれない学生の対応について、教職員がどのように対応していけばよいのかを専門家の先生のお話を聞いてみたいと思います。
・要配慮学生の支援についての研修を実施いただければ幸いです。
・発達障がい等の配慮を必要とする学生への対応について
・生成AIの具体的な業務活用例についてご教示いただけますと幸いです。
・京都コンソーシアムや首都圏にも同様のものがあるが、横のつながりをもった研修や交流があれば興味深い。
・会員以外にも、この貴重な機会を開放してくださり、ありがとうございます。機会があれば、また参加させていただきたいと考えております。繰り返しになりますが、この度はありがとうございました。